

八戸工業高等専門学校 環境都市・建築デザインコース  
 令和4年度 卒業研究発表会プログラム  
 令和5年 2月 3日 (金) 合併教室

◎ 環境都市・建築デザインコース長挨拶 藤原広和コース長 (8:50~8:55)  
 《午前の部》 (9:00~12:00)

No.	開始時刻	題 目	(発表時間)	発表者	指導教員	頁
-----	------	-----	--------	-----	------	---

◇ 司会者：南教員

1	9:00	青森県地域におけるAMeDAS観測データを用いた積雪トレンドの分析	(10分)	樋口 志保	藤原教員	1
2	9:10	小川原湖における水質変化に関する考察	(10分)	中野 拓磨	藤原教員	5
3	9:20	小川原湖の水質および流速観測について Field Observation of Water Quality and Flow Velocity in Lake Ogawara	(10分)	端本 蓉	藤原教員	9
4	9:30	下水処理場の抗生物質耐性大腸菌の実態調査と耐性菌の薬剤耐性数による塩素消毒効果の把握	(10分)	上條 陽也	李教員	13
5	9:40	下水処理過程でのファージによる薬剤耐性菌の除去における温度条件の検討と薬剤耐性菌に感染するファージの形態学的観察 Effects of temperature on the removal of antibiotic resistant bacteria by phage during wastewater treatment and morphological characterization of that kind of phage	(10分)	高山 夏姫	李教員	17
6	9:50	ファージによる下水処理過程での薬剤耐性菌制御の実用化に向けた基礎検討	(10分)	畠山 櫻子	李教員	21
7	10:00	日本の中高層木造建築の実態に関する研究	(10分)	及川 紗栄	金教員	25
8	10:10	三沢地域における米軍ハウスの特徴に関する研究 ~生産面に着目して~	(10分)	後藤 茉璃	金教員	29

☆☆ 休 憩 (10分) ☆☆

9	10:30	青森県の住宅における水害の研究	(10分)	佐々木 あゆな	金教員	33
10	10:40	地域型グリーン化事業からみる秋田県の住宅生産体制に関する研究	(10分)	野口 滉稀	金教員	35
11	10:50	八戸市におけるウォークアブル推進事業の課題と展望	(10分)	上條 日菜子	河村教員	37
12	11:00	被災写真返却活動と学生シャレットワークショップを通して見た野田村の震災復興プロセスについての研究 A study on the recovery process of Noda Village through Damaged Photos Restitution Project and Noda Charrette-workshop	(10分)	畠山 琴羽	河村教員	41

◇ 司会者：金教員

13	11:10	フロート板ガラスの錫面および非錫面の耐力評価 Evaluation of Strength of Tin and Non-Tin Surface of Float Glass Plate	(10分)	佐藤 功治朗	今野教員	45
14	11:20	荷重載荷時間が板ガラスの耐力変化に及ぼす影響 Effect of Loading Time on Strength Reduction of Float Glass Plate	(10分)	鈴木 颯人	今野教員	47
15	11:30	中泊町における繁柱式板倉の分布と歴史的価値	(10分)	間 俊輔	馬渡教員	49
16	11:40	中泊町における繁柱式板倉の建築的特徴	(10分)	ビーム	馬渡教員	51
17	11:50	八戸市の小中学校配置の現状と適正配置の課題	(10分)	小原 叶夢	馬渡教員	53

☆☆ 昼 食 (12:00~13:00) ☆☆

《午後の部》 (13:00~16:20)

18	13:00	教育施設等における室内環境の挙動特性 Behavioral characteristics of indoor environment in educational facilities	(10分)	葛西 綾乃	馬渡教員	57
19	13:10	ソーシャルメディアにみる八戸市美術館の評価	(10分)	工藤 真奈美	馬渡教員	61
20	13:20	高CECモルデナイト型ゼオライトのセメント系人工バリアへの適用性検討 Investigation of Applicability of High CEC Mordenite-type Zeolite to Cementitious Engineered Barriers	(10分)	今泉 有人	庭瀬教員	65

No.	開始時刻	題 目	(発表時間)	発表者	指導教員	頁
21	13:30	無機系多孔質発泡軽量資材の骨材利用による廃ガラス資源循環に関する基礎研究	(10分)	川原 大和	庭瀬教員	69
22	13:40	C-S-H系早強剤により初期強度を改善したLPC-FA系コンクリートの1年材齢における性能評価と実用可能性に関する検討 Investigation on Performance Evaluation at 1 Year Curing Period and Practical Possibility of LPC-FA Concrete with Improved Initial Strength by Using C-S-H-type Accelerator	(10分)	玉熊 義貴	庭瀬教員	71
23	13:50	施工後19年経過したしらす盛土の降雨時浸透特性と再現解析	(10分)	杉本 梨夢	清原教員	73
24	14:00	中空ねじり試験機による飽和珪砂7号の繰返し変形特性と再液状化評価	(10分)	佐々木 ゆのか	清原教員	75

◇ 司会者：李教員

25	14:10	地震時におけるしらす土粒子の摩耗が盛土崩壊に及ぼす影響	(10分)	佐々木 来	清原教員	77
26	14:20	異なる形状の要素を組み合わせた有限要素流体解析 Finite Element Fluid Simulation With Combination of Different Element Types	(10分)	飯田 璃咲	丸岡教員	79

☆☆ 休 憩 (10分) ☆☆

27	14:40	非圧縮性流れの安定化有限要素法における2方程式乱流モデルの導入 Application of a Two-Equation Turbulence Model for Stabilized Finite Element Method of Incompressible Flow	(10分)	豊村 征紀	丸岡教員	83
28	14:50	OpenFOAMを用いた橋梁断面まわりの数値流体解析 Computational Fluid Simulation Around Bridge Cross Sections Using OpenFOAM	(10分)	土岐 翔洋	丸岡教員	87
29	15:00	赤潮移流拡散解析のデータ圧縮とWebベースでの可視化	(10分)	高橋 悠太郎	丸岡教員	91
30	15:10	馬淵川における洪水時の流況解析	(10分)	蛭名 喜子	南教員	95
31	15:20	複合災害の発災間隔と人流に関する調査 Investigation on the occurrence interval of complex disasters and the moving of people	(10分)	山道 心真	南教員	97
32	15:30	海中構造物に作用する波力の数値解析 Numerical analysis of wave forces acting on underwater structures	(10分)	豊坂 雄斗	南教員	99
33	15:40	耐候性鋼材の錆外観評価判別法に対する三次元のセンサデバイスを用いた手法の提案 Proposal of a Method Using a Three-Dimensional Sensor Device for Rust Appearance Evaluation and Discrimination of Weathering Steel	(10分)	出町 悠資	杉田教員	101
34	15:50	3次元センサデバイスを利用した機械学習を用いる冬季路面状況判定システムの提案 Proposal for a Winter Road Surface Condition Determination System Using Machine Learning with a 3D Sensor Device	(10分)	山上 東志	杉田教員	105
35	16:00	熊本県熊本地方の地震における周期特性の検討	(10分)	加藤 颯人	杉田教員	109
36	16:10	熊本県熊本地方の地震における方向性の検討	(10分)	金濱 健太郎	杉田教員	113

【全36テーマ:36名】

◎ 講評 藤原 広和 コース長 (16:20 ~ 16:25)

【注意事項】

- 1：発表時間は 1人の場合 10分 2人の場合 15分 とする。  
 質疑応答時間は 1人の場合 3分 2人の場合 4分 とし、発表時間に含むものとする。  
 (1人：7+3=10分 2人：11+4=15分)

2：発表時間は厳守のこと、超過の場合は打ち切る。

3：発表時間の経過は次のような呼鈴で知らせる。

- (●) 1鈴：司会者の指示により 発表開始
- (●) 1鈴：発表終了 2分前
- (●●) 2鈴：発表終了 1分前
- (●●●) 3鈴：発表終了、質疑応答開始
- (●●●) 3鈴：質疑応答終了